

ノボシビルスク留学報告書

辻森研究室 鈴木陽一

I. 本留学の概要

期間：2016年11月28日～2017年2月28日

留学先：ノボシビルスク大学

及び

ロシア科学アカデミーシベリア支部地質学鉱物学研究所

目的：・シベリアトラップキンバーライト中のオリビンメルトインクルージョンに関する共同研究の促進

・自らの研究『三浦層群三崎層中のスコリアと深成岩ゼノリス』における、深成岩ゼノリスの鉱物組成の分析

II. 本留学で所属した組織について

本留学では、私はノボシビルスク大学地学専攻と、ロシア科学アカデミーの地質学鉱物学研究所の2つの組織に所属し、お世話になった。以下でその2つの組織の概要を簡単に解説する。

1. ノボシビルスク大学地学専攻

ノボシビルスクはロシアの中央に位置する、ロシアで第三の規模を誇る都市であり、ノボシビルスク大学はロシア各地から優秀な学生が多く集まる大学の一つとなっている。また、ノボシビルスクは広大なシベリアの中心都市としての機能も果たしている。シベリアにはシベリアトラップとアルタイ山脈などの南部山脈地帯とそれらに付随する数多くの鉱山などが存在し、ノボシビルスク大学ではそれらに興味を持つ数多くのロシア人学生が在籍している。ノボシビルスク大学には外国人向けの寮も存在し、様々な国から学生が多く集っている。

2. ロシア科学アカデミーシベリア支部地質学鉱物学研究所

ロシア科学アカデミーはロシアが誇る科学技術を統括する伝統ある組織であり、科学者が数多く在籍している機関である。この機関に在籍することは、ロシア人にとって非常に名誉なことであり、ロシア政府からの手当でも手厚い。従って、所有している装置も世界の優れたメーカーから調達していることが多く、精度が高い。

シベリア支部は広大なロシアのシベリアの大部分を統括する機関である。私がお世話になった方々は、シベリア地域では有名なキンバーライト中のメルトインクルージョンについて研究している方々が多かった。また、シベリアトラップの研究から発展していると思われる、地球の内部についての研究も盛んである。

また、この研究機関には優れた技官の方々も在籍している。彼らは薄片作成などのサンプル

ル作成、電子顕微鏡の操作などの諸技術に優れている。また、在籍する科学者、学生は自分で作業することなく、専ら彼らにサンプル作成や、電子顕微鏡の操作を任せることができ、本分である研究活動に集中することができる。



Fig.1 電子顕微鏡 JXA-8100

電子顕微鏡はこのような部屋に存在し、熟練の技官の方々が、我々の指定する操作を実施する。もちろんこの他にも電子顕微鏡は存在する。



Fig.2 岩石学鉱物学研究所分館

岩石学鉱物学研究所は建物が2つあり、こちらは分館である。こちらは主に鉱物学を専門にしている方々が多かった。

また、ロシアの大学はもっぱら教育活動に力を入れており、研究活動は各種研究機関に任せているという特徴がある。従って、ノボシビルスク大学の高学年の学生、修士以降の学生はノボシビルスク大学に在籍しつつ、研究活動はこの岩石学鉱物学研究所で行う、というスタイルが一般的なようである。

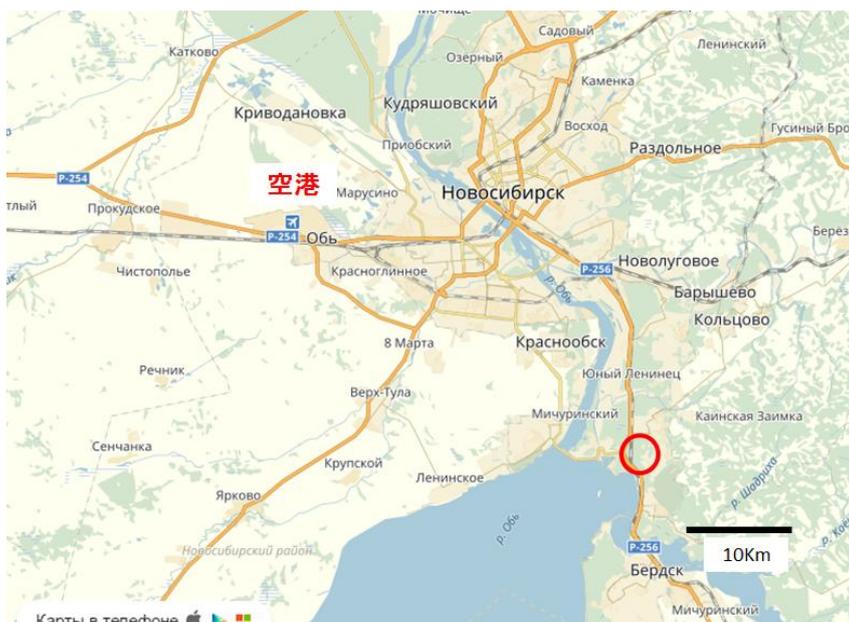


Fig.3 ノボシビルスク市全体図

この図の右下の赤丸がアカデムゴロドクであり、研究機関はここに集積している。

